

4-8 倉渚地域

(1) 地域の現状と課題

1) 地域の概況

倉渚地域は、本市の西部に位置します。烏川の源流があり、鼻曲山、角落山などの豊かな山々に囲まれた地域で、古くから「草津街道」の宿場として栄えていました。川浦から三ノ倉、水沼の烏川沿いには豊かな田園が広がり、北部の鳴石・相満地区では有機農業を主体とした高原野菜の栽培が盛んです。また、くらぶち英語村では全国から小中学生が1年単位で約20名留学しており、農業体験や地域行事等に参加し、地域交流を図っています。

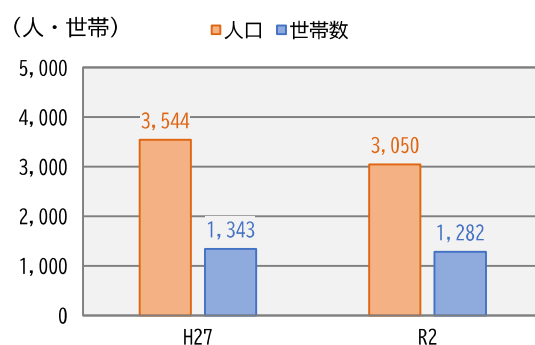
第6次総合計画では、恵まれた自然環境を守り生かす自然共生ゾーンに位置づけられています。

■ 倉渚地域の人口・世帯数

	H27	R2	増減
人口	3,544	3,050	-494
対市割合	1.0%	0.8%	-0.2%
世帯数	1,343	1,282	-61
対市割合	0.9%	0.8%	-0.1%

資料：国勢調査

■ 倉渚地域の人口・世帯数の変化



資料：国勢調査

2) 土地利用の現況

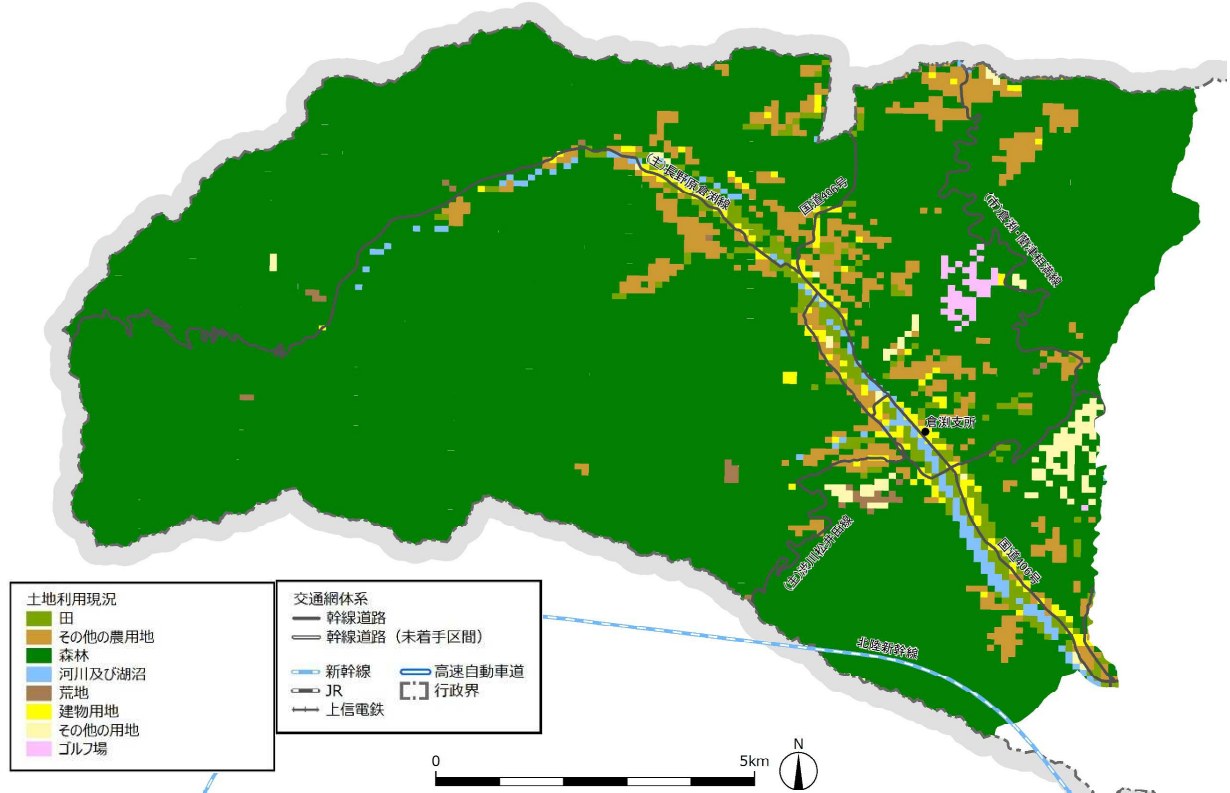
倉渚地域全域は、都市計画区域外となっています。

国道406号が地域の軸となり、その沿道に住宅、公益施設、商業施設などが立地しています。その後背地には主に農地及び山林が広がっています。

■ くらぶち小栗の里



■ 倉渚地域の土地利用現況図



※倉渚地域は都市計画区域外のため、都市計画基礎調査の対象外です。

このため、国土数値情報の土地利用細分メッシュ(100m)データを用いて作成しています。

資料：国土数値情報(令和3年度)

3) 基盤整備の状況

倉渚地域は都市計画区域外のため、都市計画道路や都市計画公園の指定はありません。国道406号が地域の幹線道路として役割を担っています。

また、東吾妻町に、一般県道 川原畑大戸線 大柏木川原湯トンネル(約3km)が開通し、ハツ場ダム(長野原町)や草津方面への所要時間が大幅に短縮されました。

4) 地域の課題

倉渚地域は人口減少が続いており、本市の中でも特に少子高齢化が顕著になっています。さらに、点在する集落では、高齢者のみの世帯が増加する可能性があります。

また、農林業では担い手の高齢化や後継者不足等の課題を抱えており、農地や森林の荒廃が進むおそれがあります。

(2) 地域の目標及び都市づくり方針

第6次総合計画における「恵まれた自然環境を守り生かす自然共生ゾーン」という位置づけを踏まえ、森林や河川、緑地などの豊かな自然環境に触れることができるとともに、住民が支え合いの中で暮らし続けられる地域を目指します。

この目標を実現するため、都市づくり方針を次のとおりとします。

1) 豊かな自然環境と営農環境の保全

森林や河川、緑地など、豊かな自然環境や自然景観を保全・活用するとともに、営農環境の維持・育成を図ります。これにより、地域の生態系が守られるだけでなく、その資源を次世代へと引き継ぐことが可能となり、持続可能な発展につながります。

2) 産業の創出

地域資源を最大限に活用し、農林業を生かした産業を創出することで、誰もが元気に過ごせる地域を目指します。

3) 倉渚支所周辺の地域拠点における生活利便施設の集積

倉渚支所周辺の地域拠点では、地域の持続的発展を目指すため、生活利便施設の集積を図るとともに、今後の開発状況を踏まえ、準都市計画区域の指定を検討します。

(3) 土地利用の方針

1) 地域商業地

- ・ 倉渚支所周辺の地域拠点は、公共サービス機能などを充実・集約させ、道の駅「くらぶち小栗の里」を中心とした商業施設の集積を図ります。

2) 田園集落地

- ・ 農地の集約化などを通して、営農環境を保全しながら、集落環境の維持と充実を進めます。

3) 自然活用保全地

- ・ 林業の基盤整備を推進し、森林の保全や育成を図ります。また、企業や市民による森林ボランティアの活動や森林体験学習など、森林が持つ多面的機能の活用を促進します。烏川や相間川などは、農地や森林と一体となった水辺景観の形成に努めます。

(4) 都市整備等の方針

1) 産業集積・振興の方針

- ・道の駅「くらぶち小栗の里」を拠点とした拡販体制の整備を図り、地域産業の拡大を検討します。
- ・地域の製造業の強化を図るとともに、新産業づくりと企業誘致に努めます。
- ・特産品開発や観光事業などと連携し、市民や観光客を惹きつける商業の振興を図ります。

2) 道路・交通網整備の方針

① 道路

- ・国道406号、(主)渋川松井田線、(主)長野原倉渚線の整備を促進し、吾妻・草津・軽井沢方面への観光ルートの形成に努めるとともに、周辺市町村との連携を強化します。
- ・地域拠点では、ユニバーサルデザインの導入・促進により、円滑で快適な歩行空間の形成を図ります。

② 公共交通

- ・バス交通の利便性向上と効率化を図りながら、多様な移動手段を活用し、公共交通網の維持確保に努めます。

3) 下水道・河川整備の方針

- ・集落が散在し地形が急峻であるため、低コストで導入しやすい合併処理浄化槽の普及を図り、烏川上流の良好な河川環境維持に努めます。

4) 公園・緑地整備の方針

- ・クラインガルテンの南部に位置する倉渚水沼公園内には、サッカー場、くらぶちこども天文台、トレイルランコース等が整備されており、市民と行政の連携により豊かな自然環境を生かした自然公園として活用に努めます。
- ・郷土の基盤となる森林、農地などの多様な緑を将来にわたり、守り育て、活用します。

5) 景観形成の方針

- ・人々の農の営みがつくり出した美しい農山村景観を守ります。
- ・山間部や烏川からの眺望や見晴らしを守ります。
- ・清流を支える山岳の自然豊かな景観を守ります。
- ・信州街道(国道406号)や宿場町の名残をとどめる街並みや伝統的建造物などを守ります。
- ・地域で大切にされている歴史文化資源を守り、まちづくりに生かします。
- ・豊かな自然や農村風景を生かした観光地景観の形成を図ります。

6) 防災・災害に対する方針

- ・災害時の避難、消防、救護活動等に寄与する道路、公園等の公共施設の整備を図るなど防災に配慮したまちづくりを検討します。

■ 倉渕地域の整備方針図

